

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 中部山岳国立公園魅力増進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境企画課 中部山岳国立公園活性化推進係 電話番号：058-272-1111

(内 2698) E-mail: c11265@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,626 千円 (前年度予算額：19,763 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	19,763	5,316	0	0	0	0	5,773	0	8,674
要求額	22,626	5,996	0	0	0	0	8,212	0	8,418
決定額	22,626	5,996	0	0	0	0	8,212	0	8,418

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、中部山岳国立公園(本県)の入込者数が減少し、国立公園及び周辺地域の活力の低下が懸念されている。こうした状況に対処するため、平成29年度に、活性化の基本方針となる「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想」「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」を策定した。

平成30年度から、県、高山市、地元関係団体と「岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会」を設立し、連携して本地域の魅力造成や発信の取組みを開始した。こうした取組みを継続するとともに、積極的に展開する必要がある。

<入込者数>

平成22年度：約128万人 → 平成30年度：約104万人 (▲17%)

(2) 事業内容

中部山岳国立公園の魅力増進を図るため、以下の事業を行う。

①岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金 12,500千円

県と高山市が連携して協議会を設立し、基本計画の進捗管理を行うほか、活性化に向けた具体的な活動を地元関係団体と連携して実施する。県と市が総事業費の1/2をそれぞれ負担(総事業費25,000千円→12,500千円)

ア 協議会開催費 804 千円

協議会に係る各種会議を開催

- ・協議会総会の開催
- ・協議会幹事会の開催
- ・協議会部会、研修会等の開催

イ 協議会活動費 22,515 千円

県・高山市と地元が一体となって活性化を図るため、乗鞍エコツーリズムや飛騨山脈ジオパークに関する取り組みへの支援、地域と連携した自然体験プログラムの試行、魅力発信、誘客イベント等の活動を継続実施

- a 地域の魅力増進事業
- b 地域の魅力発信事業
- c 環境教育推進事業

ウ 協議会事務費 1,681 千円

協議会の会計事務等の運営を実施、専任雇員 1 名を雇用

②環境教育利用の推進 8,312 千円

県内小学校の自然学習旅行を乗鞍岳、五色ヶ原の森に誘致し、当地域における自然学習の推進を図る。旅行に係るガイド費用、バス費用を負担する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内小学校を対象に乗鞍岳、五色ヶ原の森における自然学習旅行の費用の一部（ガイド費用、バス費用）を負担し、当地域における自然学習の推進を図る。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,995	業務旅費
需用費	323	消耗品、公用車燃料費
役務費	83	郵送費
使用料	413	公用車 ETC、会議室使用料
業務委託料	8,312	環境学習の実施
負担金	11,500	岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金
合計	22,626	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（Ⅲ－5「まちをつなぐ」）
岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想（平成29年7月策定）
岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画（平成30年1月策定）
中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム2025（令和3年3月策定）

(2) 国・他県の状況

国（環境省）：国立公園満喫プロジェクト（平成28年度～）
平成28年、国立公園満喫プロジェクトの対象8公園に準じる公園として当公園南部地域が指定された。

(3) 後年度の財政負担

県、高山市、地元関係団体の中で役割分担しながら実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県、高山市

中部山岳国立公園の魅力である貴重な自然環境を発信し、入込者の増加を図ることで、地域全体の活性化を図ることを目的とするものであり、県負担は妥当である。

事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 平成 29 年度に策定した岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画に基づき、活性化の取組を推進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

天候や社会情勢など様々な要因により入込数に変動するため、指標は設定しない。

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ・ビジターセンター検討部会を設置、開催 ・乗鞍岳エコツアーリズム検討部会を設置、開催 ・若者向け PR 素材の作成 ・奥飛騨温泉郷でのフォトラリーイベントを開催 ・奥飛騨温泉郷施設に多言語案内 QR コードを設置 ・五色ヶ原の森で県内小学生に自然環境学習を実施 ・ドローンを活用した PR 映像の制作 ・飛騨高山学会自然環境分科会の開催 <p style="text-align: right;">など</p>
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>令和4年度までの継続した事業であるとともに、環境省においても国立公園満喫プロジェクトとして同地域の活性化を押し進めており、必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 1	<p>中部山岳国立公園及び乗鞍岳の入込数は、新型コロナウイルス感染症及び令和2年7月豪雨災害により大きく減少し、回復に向けた取組みを図る必要がある。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>県・市等による協議会の設置により、各関係団体間の課題共有や横の連携が可能となり、事業の効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ウィズコロナ、ポストコロナの時代において、国立公園の自然観光資源を活用した持続可能な地域づくりを進めることが必要。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地元関係者と連携して、活性化に向けた取組みを継続的に進めることとともに、活性化事業の今後の在り方について検討する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	